



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこばと

2018.8

No. 413

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



平成 30 年度(第 34 回)総会報告

平成 30 年 6 月 24 日(日)さいたま市浦和区埼玉会館 7 階 7 B 会議室で、総会を開催しました。(文中敬称略)

●記念講演



午後 1 時に受付(担当:青木正俊、佐野和宏)を開始し、吉原俊雄の司会で定刻午後 1 時 30 分に記念講演が始まりました。講演内容は上原健(うへはらはたかし)本部財団常務理事による「日本野鳥の会のビジョン 2030」(上写真)。絶滅危惧種の保護と野鳥生息地保全、地域の自然が地域の手で守られる社会づくり、生き物や自然に配慮したエネルギーシフトなどについての話でした。

●表彰式など

海老原美夫代表の開会の挨拶で総会が始まり、平成 29 年県内鳥見ランキング当会主催探鳥会での観察鳥種数の部 1 位(151 種)の浅見徹に対して表彰状が授与されました。

議長に菱沼一充、書記に石塚敬二郎、議事録署名人に相原修一・石川敏男を選出して、議事に入りました。

●平成 29 年度事業報告

海老原が事務局長として、映像をまじえ、平成 29 年度事業について報告しました。

【普及活動関係】

普及部(部長:長野誠治)が担当した探鳥会は、年間 125 回(月平均 10.4 回)開催し、参加者合計 4,858 人。前年度より増加した。リー

ダー研修会、年末講演会などを開催した。

その他普及部以外の会員の普及活動 17 件など。

【保護活動関係】

『サンデー毎日』7 月 23 日号に掲載された都内におけるオオタカの育雛写真につき、日本野鳥の会東京、本部自然保護室と連絡を取り、同誌編集部意見書を送った。

埼玉県カワウ協議会に小荷田行男、芝川第一調節池に関する意見交換会に小林みどり、野口修、見沼さざ山交流広場運営会議に小林みどり、国営森林公園地域懇談会に藤掛保司が出席した。

蓮田市で保護されたクロアシアホウドリを茨城県に運び放鳥した。

【調査研究関係】

調査部(部長:小林みどり)は、カモ科、シギ・チドリ類、タカの渡り調査などを継続し、野鳥データベース作成のために野鳥情報にメッシュを付してほしいと呼びかけ、野鳥データベースを充実させることを目的とした野鳥リポーターを募集した。

記録委員会(委員長:榎本秀和)は、8 件の事例について検討して結果を『しらこぼと』誌上で発表した。

【広報活動関係】

編集部(部長:山部直喜)は、会誌『しらこぼと』を年 12 回、合計 19,200 部発行した。

IT 委員会(委員長:佐野和宏)は、探鳥会参加者、会員の増加をめざし、公式サイトの実現につとめた。

【総務・事務局関係】

残念ながら会員数は引き続き減少した。減少率は 4.4%。

10 月 14 日(土)～15 日(日)都内で開催された関東ブロック協議会に、青木正俊、石塚敬二郎、小林みどり、森本國夫の 4 名が参加した。

11 月 11 日(土)～12 日(日)千葉市内で開催された日本野鳥の会連携団体全国総会に山部

直喜が出席した。

【事業活動関係】

事業部(部長:相原修一)は、会の財政安定に貢献した。

事業報告は、当会ホームページに全文掲載していますので、ご覧ください。

●平成 29 年度収支決算

平成 29 年度収支決算は右下表(誌面の都合で、一部の項目を合算したものを掲載)の通りです。青木正俊・楠見邦博両監事が監査報告書を提出し、会場では青木監事が監査結果を報告しました。

●平成 30 年度事業計画・収支予算

平成 30 年度事業計画案はおおむね従来の事業を継続すること、予算案は、パソコン購入代金が什器備品費に含まれることなどが説明され、ここまでの議事は1号議案(事業報告)と2号議案(決算)、3号議案(事業計画案)と4号議案(予算案)がそれぞれ一括して、拍手で承認されました。

●平成 30 年度役員の選出

前年度役員のうち田邊八州雄(越谷市)が退任を申し出ました。長年のお力添え、ありがとうございました。



島崎 敦



高崎康晃

そのほかの 39 名を再任、島崎敦(入間市)、高崎康晃(さいたま市)の2名を新任として選出する案が承認されました。

●代表、副代表など留任

総会を一旦中止して平成 30 年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催。代表、副代表、監事がそれぞれ留任することが承認されました。

●平成 30 年度役員名簿

【代表】 海老原美夫(さいたま市)

【副代表】 小林みどり(さいたま市) 山部直喜(三郷市)

【幹事】 相原修一(鴻巣市) 浅見徹(さいたま市) 新井巖(深谷市) 石井智(鴻巣市) 石川敏男(春日部市) 石塚敬二郎(さいたま市) 石光章(所沢市) 伊藤芳晴(川口市) 井上幹男(長瀬町) 入山博(春日部市) 榎本秀和(鴻巣市) 大井智弘(さいたま市) 小荷田行男(さいたま市) 近藤龍哉(上尾市) 佐野和宏(越谷市) 島崎敦(入間市) 杉本秀樹(習志野市) 須崎聡(川口市) 鈴木秀治(ふじみ野市) 高崎康晃(さいたま市) 千島康幸(小川町) 手塚正義(川口市) 長嶋宏之(蓮田市) 中島康夫(蓮田市) 長野誠治(さいたま市) 中村豊己(東松山市) 橋口長和(春日部市) 長谷部謙二(川越市) 菱沼一充(白岡市) 菱沼洋子(白岡市) 廣田純平(上尾市) 藤掛保司(川越市) 茂木幸蔵(行田市) 森本國夫(さいたま市) 吉原早苗(北本市) 吉原俊雄(北本市)

【監事】 青木正俊(さいたま市) 楠見邦博(さいたま市)

日本野鳥の会埼玉 平成29年度決算・30年度予算

収入の部

	項 目	29年度決算	30年度予算
一般会計	期首繰越金	527,627	298,431
	会費	2,513,570	2,500,000
	その他	897,167	800,000
	事業部会計から	100,000	300,000
	一般会計合計	4,038,364	3,898,431
事業部会計	期首繰越金	2,236,304	2,214,809
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	事業部売上金	583,286	700,000
	その他	3,278	0
	事業部会計合計	7,822,868	7,914,809
総合計		11,861,232	11,813,240

支出の部

	項 目	29年度決算	30年度予算
一般会計	会報印刷費	1,202,688	1,166,400
	会報発送料	763,784	760,000
	家賃	984,000	984,000
	その他	789,461	983,000
	期末繰越金	298,431	5,031
事業部会計	一般会計合計	4,038,364	3,898,431
	事業部仕入れ金	505,390	600,000
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	一般会計へ	100,000	300,000
	その他	2,669	2,000
事業部会計	期末繰越金	2,214,809	2,012,809
	事業部会計合計	7,822,868	7,914,809
総合計		11,861,232	11,813,240

(円)



野鳥情報

春日部市一ノ割 ◇5月1日午前6時過ぎ、特養ホームフラワーヒル北西の田んぼにムナグロ9羽の群れが休息中。近くの空き地の草地でオオヨシキリ1羽が囀っていた。

5月2日午前6時15分、一の割自然保育園北側田んぼでムナグロ105羽+の大きな群れが休息中。5月4日午前7時40分、一の割自然保育園北側田んぼでムナグロ41羽の群れが休息中。この田んぼには1本のポールが立ててあり、「JA 南彩 展示圃 圃場」との標識が付いている。これがムナグロを引き付ける何かがあるのだろうか(石川敏男)。

春日部市谷原新田 ◇5月1日午前7時、神田ファーム東側の田んぼでムナグロ46羽+採餌中。5月5日午後12時11分、秀和病院南方、神田ファーム東側の田んぼでムナグロ15羽、同6羽とキアシシギ1羽の2つの群れが採餌中。キアシシギは当地今季初認(石川敏男)。

春日部市武里中野 ◇5月2日午前5時45分、中野サッカーグラウンド南側の草地(水のない遊水地)上空でセッカ1羽が囀る。今季の当地初鳴き。昨年よりだいぶ遅い。5月4日午前7時45分、ムナグロ6羽の小群が畔上で休息。他にアオサギ1羽、ダイサギ1羽、チュウサギ1羽。5月5日午前7時20分～7時50分、ムナグロ2羽、タシギ1羽。他にカルガモ、アオサギ1羽、チュウサギ9羽、コサギ4羽、ヒバリ、ツバメ、セッカ、ムクドリ、スズメ、セグロセキレイなど(石川敏男)。

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇5月4日午前9時30分頃、田んぼでアマサギ1羽、ダイサギ10羽、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ツバメ、ハシブトガラス等(嶋田富夫)。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇5月4日午前10時、子供の森でサンコウチョウ♂1羽(右上写真)。他に声のみで、キビタキ、エナガ、ハシブトガラスなど(嶋田富夫)。



さいたま市西区大宮花の丘農林公苑 ◇5月5日午前5時30分～8時30分、カルガモ、キジバト、カワウ、オオタカ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ウグイス、メジロ、スズメ、キビタキ、ハクセキレイなど。5月18日午前中、サンコウチョウ♀1羽。他にオオタカ、カルガモ、ハシブトガラス、キジバト、シジュウカラ、ホオジロ、スズメ、ツバメ、ムクドリなど(嶋田富夫)。

春日部市薄谷 ◇5月5日午後12時20分、春日部メモリアルパーク南側の田んぼにムナグロ48羽の群れが採餌・休息中(石川敏男)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇5月8日、雨のあがった朝、散歩をしていると、変わった鳴き声。目の前の枝にサンコウチョウ♂1羽。昨夜渡ってきたのだろうか。あまり動かない。感動(内田克二)。◇5月10日午前5時30分、サンコウチョウ♂がいるとの話を聞き、出勤前に行ってみる。サンコウチョウ独特の「ギー」に続き、ぐぜりっぽい声が林の奥の方の樹上から聞こえてくる。その内、だんだん声が近づいてきた。その時、どこからかカラスが飛来。声のする辺りの枝にとまる。とたんに声がストップ。どこかに行ったようだ。雨も降ってきて、タイムアップ(藤原寛治)。

桶川駅西口公園 ◇5月11日午前6時50分、西口公園の緑の森でセンダイムシクイの鳴く「チオチオビー」の音が聞こえた。この公園で聞くのは珍しい(立岩恒久)。

桶川市若宮 ◇5月13日午前6時10分、カッコウの声が5号棟の屋上アンテナから聞こえてきた。今年初めての確認。昨年は5

月24日の朝だった。今年はカッコウまでも早くやってきたようだ。これからの季節を楽しみにしている（立岩恒久）。

幸手市中川河川敷(54390691、54390690) ◇

5月16日、カルガモ7羽、キジバト1羽、カワウ1羽、チョウゲンボウ3羽、シジュウカラ11羽、ツバメ6羽、オオヨシキリ（声のみ）、ムクドリ12羽、スズメ16羽、ハクセキレイ3羽、カワラヒワ2羽、ホオジロ2羽など（荒川貴之）。

春日部市谷原新田・武里中野の境 ◇

5月16日午前6時45分頃、いつもと違う囀り声があった。よく聞いてみると、キビタキのそれに近い。しばらくすると、新葉の中、枝移りする姿が目に入った。まがうかたなきキビタキの♂（下写真）。こんな小さな木立に綺麗な鳥が来るなんて全く予想だにせず。他にいないか見たが、この1羽だけだった（石川敏男）。



鴻巣市大間一丁目 ◇

5月17日午後9時頃、空の高みからホトトギスの声が2声降って来た。今季初認。聞き耳を立てていると、今度はさっきよりはっきりと4声。別な個体かな。5月18日正午過ぎ、上空にハイタカ2羽。1羽は換羽の途中の様子で風切がボロボロ。ツバメ1羽にモビングを受け、「キキッ」と声を発して飛び去る（榎本秀和）。

川島町鳥羽井 ◇

5月21日午後12時40分頃、電線にサシバ。通勤途中、車窓から確認。今季は、縁遠くなかなか見られなかったのだが、やっといい所にいてくれた（大畑祐二）。

吉見町今泉周辺 ◇

田植えの終わった田圃に小型のサギがいた。コサギにしては違和感。よく見ると近くにもう1羽。この個体を見て納得。夏羽になっていない個体と夏羽になっている個体のアマサギのペアだったのだ（大畑祐二）。

鴻巣市大間一丁目 ◇

5月22日午後3時15分過ぎ、チョウゲンボウ1羽飛来。たまたま通りがかっただけのような感じだったが、ツバメ1羽がすかさずスクランブル。行動が早い！（榎本秀和）。

新座市野火止(53395454) ◇

5月21日、チョウゲンボウ4羽が同時に上空を移動しながら旋回。1羽での出現はときときあるものの4羽同時は初めて。特になわばり争いなどの兆候もない。営巣場所の確認等はできていない。時期的に見て2羽はヘルパーの可能性か（森成久、糸嶺篤人）。

桶川市後谷公園調整池 ◇

5月24日午前10時10分、コアジサシ1羽。今季初認（小貫正徳）。

川口市イイナパーク川口(53396519) ◇

5月30日、イイナパーク川口が一部オープン。池でバン、セグロセキレイ、カイツブリ（雛5羽も）、ダイサギ、アオサギ、カワセミ等が少数だが見られた。コチドリの雛4羽も確認できた。すぐ近くでカラスやムクドリ、チョウゲンボウなども子育て中。残りの工事もあるようなので、はらはらしながら見守っている（中橋由美子）。

ふじみ野市大井中央公民館(53396430) ◇

6月1日午後8時30分、ホトトギスの鳴き声を聞く（鈴木秀治）。

蓮田市西城沼公園とその周辺 ◇

6月1日、ツバメが巣に座っていた。4羽が巣の周辺を飛び回っていた。ツミの若鳥が梢に。巣立ち雛かも。コジュケイが久々に鳴いた（長嶋宏之）。

秩父長瀬櫓沢 ◇

6月2日午前10時、キビタキ♂1羽、サンコウチョウ♂1羽（小貫正徳・とみ子）。

表紙の写真

チドリ目チドリ科ムナグロ属ムナグロ

昨年8月23日、川越市内で撮影。稲穂に舞うムナグロです。 田口勝利(さいたま市)



行事案内



カワセミ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。万全の熱中症対策をお願いします。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月5日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、北里大学メディカルセンター行きバス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、千葉、飛田、内藤、永野、村上、吉原(早)

見どころ：夏真っ盛りの公園で鳥を探します。木陰道を渡る風が心地よいです。この時季見られる鳥は少ないのですが、大丈夫！トンボを中心にたくさんの昆虫が待っています。鳥好き、虫好き、自然好き、みんな集まれ！

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月12日(日)

集合：午前9時30分、JR 京葉線 南船橋駅前。

交通：JR 武蔵野線(京葉線直通) 武蔵浦和 8:27→南浦和 8:31→南船橋 9:22 着。

担当：杉本、伊藤、手塚、長谷部、菱沼(一)、菱沼(洋)、渡邊

見どころ：繁殖を終えて南に帰る途中のシギ・チドリ類が主役です。珍しい種類も出やすい季節です。識別に挑戦してみましよう。熱中症対策をお願いします。

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：8月18日(土)

集合：午前9時10分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。(ご注意：JR 船橋駅での受付はしません。)

交通：JR 武蔵野線 南浦和 7:18→西船橋で総武線 8:08 に乗換え、船橋 8:11 着。京成バス 8:30 発 船橋海浜公園行きに乗り、終点下車。京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。リーダーの案内に従ってください。

担当：菱沼(一)、佐久間、佐野、杉本、菱沼(洋)、渡邊

見どころ：9時45分が満潮なので次第に潮が引いていく状況です。越夏中のミヤコドリ、シギたちの渡りも始まります。今年こそアジサシとコアジサシの違いが分かればいいね！暑さがきびしいので対策を忘れずに！

『しらこばと』袋づめの会

とき：8月18日(土) 午後3時～4時ころ

会場：会事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月19日(日)

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

交通：JR 北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50 m 先左手バスターミナルから 8:23 発東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、浅見(徹)、楠見、小菅、新部、畠山

見どころ：今月も木陰の多い代用水沿いを歩きます。身近な鳥の子供たちは大きくなったかな？ 昆虫観察も真夏の三室の楽しみです。

リーダー研修会(要予約)

期日：9月2日(日) 午前9時30分～午後4時30分(受付開始：午前9時)。

会場：北本市・埼玉県自然学習センター

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、北里大学メディカルセンター行きバス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

申し込み：初めてリーダー研修会に参加される方は、往復はがきに、住所・氏名・年齢、性別、電話番号、推薦者の氏名(記載必須)を明記して、長野誠治()へ。8月18日必着。役員・リーダーの方も電話またはメールで、必ず事前に参加申し込みをお願いします。

初めての方の参加資格：探鳥会にリーダーとして協力できる埼玉会員で、役員かリーダー1名以上から推薦された方。

その他：① 筆記用具と簡単な観察用具を持参してください。② 昼食(弁当)は普及部で用意します。

長野県・白樺峠～上高地探鳥会(要予約)

期日：9月16日(日)～17日(月・祝)

集合：16日午前8時45分、JR 上田駅温泉口(南口)。集合後解散まで貸し切りバス(中型バス・27人乗り)を使用。

交通：上越・北陸新幹線あさま601号に乗車(大宮7:18→熊谷7:31→上田8:27着)。

解散：17日18時30分ころ、長野駅。

費用：28,000円～23,500円の予定。【現地バス代(シャトルバス代を含む)・宿泊費・親睦会費・2日目の昼食代・保険代等】過不足の場合、当日清算。

定員：24名(応募多数の場合は先着順)。最



少催行人員17名。

申し込み：往復葉書に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・年齢・性別・電話番号(保険加入に必要な)を明記して、入山博()まで。8月1日以降の消印から有効受付とします。

担当：入山、柏瀬、近藤

見どころ：1日目は、白樺峠でサシバやハチクマが目の前を渡って行く姿を観察します。2日目は、初秋の上高地を散策します。宿自慢のきのこ料理で秋の味覚を楽しみましょう。

その他：宿泊は、男女別の相部屋です。個室の用意はできません。雨天等の場合、日程を変更する予定です。今回の探鳥会は、旅行会社の企画旅行ではなく、従来の探鳥会の方法に戻します。

《お詫びと訂正》 調査部

『しらこぼと』6月号に掲載した「カモ科カウント2018」記事及び集計表中に以下の誤りがありました。関係者各位にはご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正いたします。

- ①カモの個体数の誤り及び記載漏れ：芝川・石橋～松山橋 カルガモ 17羽(誤)→19羽(正)／小畔水鳥の郷公園・御伊勢塚公園 カルガモ 54羽(誤)→56羽(正)／大吉調節池 ヒドリガモ 32羽、マガモ 8羽、コガモ 6羽の記載漏れ。これらを加えるとカモの総個体数は 11,022羽(誤)→11,072羽(正)となります。
- ②カワウの個体数の記載漏れ：狭山湖 16羽／まつぶし緑の丘公園 3羽／大吉調節池 4羽 これらを加えるとカワウの総個体数は 403羽(誤)→426羽(正)となります。
- ③アメリカヒドリ 1羽が記録されたのは武蔵丘陵森林公園・山田大沼ではなく、吉見町の大沼でした。
- ④『日本鳥類目録改定第7版』ではハクチョウ、カモともすべてカモ科に含まれますので、記事中の「20種(ハクチョウ科2種、カモ科18種)」の()内を削除します。

2018年9月～12月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、その月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地など
9	8	土	神奈川県大磯照ヶ崎海岸（レディース）
	16	日	さいたま市 三室地区〔定例〕
	16-17	日-月	長野県白樺峠・上高地（要予約）
	17	祝月	寄居町 中間平（タカの渡り調査）
	17	祝月	さいたま市 大久保農耕地（シギ・チドリ類調査）
	23	祝日	松伏町 松伏記念公園
	23	日	狭山市 入間川〔定例〕
	24	振月	飯能市 天覧山（タカの渡り調査）
10	7	日	北本市 石戸宿〔定例〕
	7	日	さいたま市 民家園周辺〔定例〕
	13	土	東京港野鳥公園スケッチ探鳥会（ヤング・要予約）
	14	日	熊谷市 大麻生〔定例〕
	20	土	加須市 渡良瀬遊水地
	21	日	さいたま市 三室地区〔定例〕
	27	土	行田市 さきたま古墳公園
	27-28	土-日	長野県 戸隠高原（要予約）
11	28	日	松伏町 まつぶし緑の丘公園 *
	4	日	上尾市 丸山公園
	4	日	春日部市 内牧公園
	7	水	羽生市 羽生水郷公園（平日）
	11	日	熊谷市 大麻生〔定例〕
	17	土	さいたま市 見沼自然公園 **
	18	日	さいたま市 三室地区〔定例〕
	18	日	嵐山町 菅谷館都幾川
	23	祝金	本庄市 坂東大橋
	23	祝金	志木市 柳瀬川
	23	祝金	栃木県奥日光千手が浜（要予約）
	24	土	蓮田市 黒浜沼 *
	25	日	狭山市 入間川〔定例〕
	28	水	戸田市 彩湖（平日）
12	1	土	所沢市 狭山湖
	1	土	加須市 渡良瀬遊水地
	1	土	狭山市 入間川（ヤング）
	2	日	北本市 石戸宿〔定例〕
	2	日	さいたま市 民家園周辺〔定例〕
	6	木	加須市 渡良瀬遊水地（平日）
	7	金	戸田市 彩湖（平日）
	9	日	熊谷市 大麻生〔定例〕
	13	木	加須市 加須はなさき公園（平日）

12	15	土	さいたま市 岩槻文化公園
	16	日	さいたま市 三室地区〔定例〕
	16	日	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	24	振月	幸手市 宇和田公園
1	4	金	さいたま市 さぎ山記念公園

* ビギナー探鳥会を併設 ** 親子探鳥会を併設

9月～12月「たくさん見える！」予報

2013～2017年の9～12月の探鳥会で見られた野鳥は、県内で132種、県外で100種でした。県内で多種を見たい人のために、5年間の月ごとの出現鳥種数が多い順に探鳥会を並べてみました。

	9月	10月	11月	12月
1	入間川	渡良瀬	（渡良瀬）	民家園
2	松伏記念	民家園	羽生水郷	渡良瀬
3	（高麗川）	さきたま古墳	大麻生	彩湖
4	（大麻生）	石戸宿	黒浜沼	森林公園
5	三室	大麻生	入間川	岩槻文化
6	—	緑の丘	（緑の丘）	狭山湖
7	—	三室	菅谷館	三室
8	—	（西川越）	坂東大橋	石戸宿
9	—	—	三室	宇和田
10	—	—	彩湖	大麻生
11	—	—	丸山公園	はなさき
12	—	—	見沼自然	—
13	—	—	柳瀬川	—
14	—	—	（利根大堰）	—
15	—	—	内牧公園	—
	32～47種	35～69種	38～65種	43～66種

（ ）付き：今回は設定されていない探鳥会

ちなみに2013～2017年の9～12月を通算した出現鳥種数（年毎の変動範囲）は、渡良瀬 91(60～66)、民家園 78(47～59)、大麻生 70(33～51)、彩湖 65(49～55)、三室 64(34～47)、入間川 63(35～45)、石戸宿 59(38～50)、羽生水郷 56(32～42)、森林公園 56(32～40)、岩槻文化 54(33～38)、緑の丘 54(34～40)、狭山湖 52(32～37)、黒浜沼 50(33～39)、菅谷館 49(30～40)、宇和田 49(29～37)、坂東大橋 48(29～37)、丸山公園 44(24～32)、見沼自然 44(28～37)、利根大堰 43(36～40)、はなさき 43(26～29)、さきたま古墳 43(20～32)、柳瀬川 43(29～36)、高麗川 39(23～30)、松伏記念 39(18～29)、内牧 38(15～33)、西川越 35(29～31)、でした。



行事報告

1月7日(日) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加: 56名 天気: 晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギバン オオバン イカルチドリ トビ チュウヒ オオタカ カワセミ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (36種) (番外: ドバト) まずはトンボ池から大池の木道を終点まで北上。カモ4種にカワウとサギ2種と少ない鳥影、特にミコアイサが出なかったのが残念。気を取り直して里山ゾーン(の山(丘))に登った。猛禽類が3種も出現し、元気になって公園を出て古利根川へ。オオタカやイカルチドリをじっくり観察した。強い北風が収まらず、公園に戻って少し早めにお開きにした。

(橋口長和)

2月4日(日) 北本市 石戸宿

参加: 43名 天気: 晴

マガモ コガモ キジバト アオサギ クイナバン トビ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ チョウゲンボウ モズ カケス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ ベニマシコ シメ カシラダカ アオジ (32種) (番外: ガビチョウ) ふれあい橋で早速シメ。木道でジョウビタキ。エドヒガンの前でエナガ、シジュウカラ、コガラの大群に遭遇。「これより北はぬかるんでいるので待っていたい人は待っていて」と言ってお出発しようとしたら、「アトリ!」の声。梢に約8羽。逆光気味のアトリを確認。ノスリの飛翔は3回も。池では氷の上をバンが慎重に歩いていた。氷の融けた箇所には久しぶりにカモが。時間が過ぎているのでゴールに急ぎたかったが、ふれあい橋の脇で後半の人は

亜種オオアカハラをじっくり。

(吉原俊雄)

2月4日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 62名 天気: 晴

オオハクチョウ オカヨシガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ トモエガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギバン オオバン ユリカモメ トビ チュウヒ ハイタカ ノスリ コゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン (48種) (番外: ドバト) コース上の雪はほとんど溶けており、穏やかな気候の中出発。早々に、アオジ、コゲラ、カシラダカがお出迎え。ベニマシコも近くで観察。池の中にはオオハクチョウ3羽。キンクロハジロの群れの中にトモエガモ♂1羽。チュウヒやノスリ、トビも出現してくれて、盛り沢山な探鳥会となった。

(須崎 聡)

2月4日(日) さいたま市 民家園周辺 Beginner

参加: 25名 天気: 晴

キジ オオハクチョウ オカヨシガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ コサギ オオバン ユリカモメ トビ ノスリ コゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (39種) (番外: ドバト) この日が“探鳥会デビュー”という方もたくさん! スタートから鳥の出が良く、大盛り上がり。ノスリ、ハヤブサと続き、ベニマシコも全員が確認、そしてこの池の主役オオハクチョウ……。なかなか前に進めず、調節池三分の一でUターン。

(石塚敬二郎)

2月8日(木) 加須市 加須はなさき公園

参加: 27名 天気: 晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ バン オオバン トビ ノスリ アリスイ コゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ アカハラ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (34種) (番外：ドバト) 青毛堀川では眼下を飛ぶコガモの翼音が響き、翼鏡が光った。田圃では頭上をハヤブサが通過し、ノスリも2羽でペアリング飛翔だ。芝生では採餌中のヒドリガモの♀と夫々の成鳥、幼鳥の識別に挑戦。園路ではモズもペアリングを始めたようだ。ヨシ原ではアリスイとアカハラに盛り上がった。(長嶋宏之)

2月10日(土) さいたま市 大宮市民の森

参加：61名 天気：晴

マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト アオサギ クイナ バン オオバン ヒメアマツバメ ノスリ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリトラツグミ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン (34種) (番外：ドバト) ビギナー班と一般2班、計3つの班で探鳥会を実施。例年のコースは工事のため今回は公園の北側を探鳥する。一つの班は30名に満たないのでゆっくり探鳥が出来た。トラツグミも出現して盛り上がった。(青木正俊)

2月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加：43名 天気：晴

キジ マガモ カルガモ キジバト イカルチドリ クサシギ トビ ノスリ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ アオジ (35種) (番外：ガビチョウ) 土手下の路で採餌中のカシラダカの群れの中にミヤマホオジロを発見。いきなりのスター登場で盛り上

がった。河原ではクサシギ、イカルチドリ、最終地点の池ではベニマシコ、シロハラ、ルリビタキなどが見られ、タヌキのおまけまで付いて、楽しく終了した。(新井 蔵)

2月11日(日) 所沢市 狭山湖

参加：34名 天気：晴後曇

マガモ カルガモ コガモ キンクロハジロ カワアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ オオバン ミサゴ トビ カワセミ コゲラ アカゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (39種) (番外：ドバト、ガビチョウ) 観察種数は少なくない。それなのに物足りなさを感じてしまう。全体に鳥の個体数が少なく、見られても数人、一瞬、遠く、そんなのばかり。めずらしく気温が高めで大変過ごしやすかったのがいけないのだろうか。狭山湖は例年通り震えるような寒さでないと鳥が出てくれない？(体調不良者への対応で途中からメインリーダーを交代。)(石光 章・長谷部謙二)

2月17日(土) 上尾市 丸山公園

参加：39名 天気：快晴

キジ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ オオバン トビ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (32種) (番外：ドバト) 溢れる日差しのもと、鳥たちの春の変化を観察した。大きなドラミングはコゲラで、タカのような声を出しているのはカケス。観察しているとエナガの群れが覗きに来た。滝の池では、キセキレイ、ジョウビタキが次々に登場。自然学習館裏ではシロハラとシメ、ビオトープ横でホオジロ、カシラダカ、ジョウビタキ、モズが。下見で出たアリスイ、ヒレンジャクを期待した。それはかなわなかったが、ベニマシコも出て、楽しい探鳥会となった。(近藤龍哉)

2月17日(土) さいたま市 大宮公園 Young

参加: 29名 天気: 晴

オナガガモ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ バン オオバン ヒメアマツバメ オオタカ コゲラ モズ オナガハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ ビンズイ シメ アオジ (26種) ヤン探初となる大宮公園での開催。梅も咲き始めていた。池ではキンクロハジロ、オナガガモ、カイツブリなどが近くで見られ、上空ではオオタカとヒメアマツバメが飛んでくれた。松林ではビンズイの群れが。小動物園も見学し、園内ではアネハヅル、そしてお待ちかねのシラコバトのフライングケージを堪能した。(廣田純平)

2月17日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 10名

相原修一、宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、松村慎夫

2月18日(日) さいたま市 三室地区

参加: 46名 天気: 晴

オカヨシガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン オオタカ ノスリ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ (27種) (番外: ドバト) 北風が強くて寒い。カワウ 2羽が風下に向かって矢のように飛んだ。斜面林での休憩も風よけが不十分で、早々に出発。この日の主役はヒバリ。縄張り宣言か、雌へのアピールか、強風にもめげず高く舞い上がり、囀ったり、追いかっこをしたり。春はもうすぐそこ。(浅見 徹)

2月18日(日) 志木市 柳瀬川

参加: 39名 天気: 快晴

オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン イカルチドリ タシギ イソシギ ミサゴ ノスリ カワセミ チョウゲンボウ モズ ハシ

ボソガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (38種) (番外: ドバト) 強い風で土手の上は寒さが厳しい。鉄橋前後の川岸や中州で数は少ないがカモやシギ・チドリ類を観察。富士見橋下流は工事中。上空では風に乗って翔ぶ猛禽を遠望。高橋〜栄橋の間ではシギ・チドリ類、キセキレイ、ジョウビタキ、カモ類等を観察。最終地点の村山快哉堂では「吊るし雛」が公開されていた。(鈴木秀治)

2月24日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加: 64名 天気: 晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン イカルチドリ ハイタカ オオタカ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (36種) (番外: ドバト) 出発早々アトリに出会えた後、芝生の上でシロハラが餌を採る姿やエナガの群れなどを観察。元荒川には40羽前後のヒドリガモの群れ。最後、鳥合わせの最中にはハイタカが頭上を舞ってくれた。春本番を迎えたような暖かな陽気のなか、ゆったりと鳥見を楽しむことができた。(長野誠治)

2月25日(日) 群馬県 小根山森林公園

参加: 25名 天気: 晴

キジバト カワウ トビ オオタカ クマタカ コゲラ アカゲラ アオゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ カワガラス ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ キセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ ベニマシコ ホオジロ ミヤマホオジロ アオジ (30種) スタート時にカワガラスが現れてくれた。山吹の郷では、ベニマシコの姿をじっくり見ることが出来た。小根山森林公園の餌台に来たミヤマホオジロやルリビタキも見ることが出来た。今年も小根山森林公園の職員の方が、暖かいナメコ汁で歓迎してくれた。(入山 博)



● マダニにご注意!!

2013 年 4 月号と同年 8 月号の本欄で、マダニが媒介するウイルスによる重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) に対するご注意を呼びかけましたが、最近になって、その疑いがある症状で長期入院を余儀なくされた当会会員の情報が届きました。日本海の島での被害の可能性があるようですが、県内でもあらためてご注意をお願いします。

帽子・長袖・長ズボンに防虫スプレーを使用する、草原に直接座らない、直接座らなくても同じ場所に長時間居続けない、草むらに入らない、衣類などを草の上などに直接置かない、衣類をよく振るってマダニを室内に持ち込まない、入浴して全身を点検、万一マダニがついていたら、自分で無理に取らずに、皮膚科を受診する、などを忘れずに。

その後数週間程度は体調の変化に注意して、発熱、食欲低下、嘔気、下痢、腹痛などの消化器症状、頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血症状があったら、診療機関で診察を受けてください。

マダニは、日本紅斑熱、ライム病など、他に多くの感染症も媒介します。

● 会員の普及活動

6 月 9 日(土)、さいたま市立浦和博物館主催の親子探鳥会が緑区三室地区で開催され、楠見邦博、畠山孝、小菅靖、石塚敬二郎が、親子 25 名の参加者を指導しました。「とりた

ちと出会うとみんなのところがやさしくなるよ!」のテーマで、雑木林で虫たちを見つけ、ボランティアの人から「水とお米」の話聞き、たんぼでカルガモ、空を飛ぶツバメやヒバリ等を楽しみました。

● 会員数は

7 月 2 日現在 1,619 人です。

活動と予定

● 6 月の活動

6 月 8 日(土) 7 月号校正 (海老原美夫、大坂幸男、佐久間博文、長嶋宏之、藤掛保司)。

6 月 17 日(日) 役員会 (司会: 相原修一、各部の報告・総会準備・次期代表など・その他)。

6 月 18 日(月) 『野鳥』誌と同封発送しない会員向け、『しらこぼと』7 月号を郵便局から発送 (海老原美夫)。

● 8 月の予定

8 月 4 日(土) 編集部会。

8 月 11 日(土) 9 月号校正(午後 4 時から)。

8 月 18 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

8 月 19 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

6 月に北海道へ鳥見の旅に行った。ハイライトは落石漁港からの船で見る海鳥。5 回行ってすべて天候不良で出港できなかったという人も居るとか聞いたが、すんなり海に出られ、エトピリカのみならず、今やエトピリカよりも少ないというチシマウガラスまで見られる幸運に恵まれた。(森本)

しらこぼと 2018 年8月号(第 413 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番 23 号 丸和ビル
(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社